

いのちの言の葉2010

富山県教育委員会 平成22年度いのちの教育総合支援事業

「生きているとは？」

魚津市立本江小学校 3 学年児童
平成22年7月2日実施

【いのちの先生】

浦田 哲郎先生

・学校医、浦田クリニック院長

【授業の概要】

- 1 「いのちの先生」の紹介
- 2 いのちの先生の話
 - (1) 人間の一生について
 - (2) 人間の体の仕組みについて
 - (3) 生きているものとそうでないものの違いについて
- 3 質問コーナー
- 4 授業の感想の記入

「生きているとは？」をお聞きして

わたしは、血液は心臓から出していると聞いて、びっくりしました。食べ物を食べたら、血液になることも知りました。食べ物を食べて、しっかり栄養をとったら、あまり病気になることも教えていただきました。わたしは、すききらいがあるので、これからは食べ物をのこさず食べていこうと思いました。

浦田先生のお話を聞いて、たくさんの方が分かりました。これからも、「いのち」を大切にしていきたいと思いました。

(児童の感想)

「生きているとは？」をお聞きして

手首を指3本でさわると、脈が感じられました。心臓から血液が1分間に80回ぐらい送られていることが分かりました。息をすると、吸った酸素が、二酸化炭素になって出てくることも分かりました。元気よく過ごすには、よく寝ること、好き嫌いをせず何でも食べることが大切だと教えてもらいました。

友達と仲よくすると、自分も元気でいられることも教えていただきました。ふざけたりするとけがをしたり、いじわるをすると食欲がなくなってしまうから、ちゃんと生活したいと思いました。「いのち」を大切にしたいと思いました。(児童の感想)



「生きているとは？」をお聞きして

ロボットと違い、ぼくたちは生きているから、1回死んでしまってもう生き返りません。ぼくは長く生きていきたいです。そのためには、たくさんのおかずやごはんを食べて、体を強くしていきたいです。また、どこに心臓があるのかも教えていただきました。心臓から出る血液も、自分で作っていると聞いてびっくりしました。浦田先生にはたくさんの方を教えていただきました。(児童の感想)